

学校運営協議会(定時制部会)議事録

校名	府立佐野工科高等学校
准校長名	瀬田 浩一郎

開催日時	令和4年2月21日(月)
開催場所	書面開催(書面によるやり取りで実施)
出席者(委員)	山田部会長、大倉委員、町谷委員、田脇委員、川上委員、根来委員
出席者(学校)	瀬田准校長、山口教頭、藤原首席、西脇生徒指導部長、八木進路部長、小寺教務部長、濱田保健人権部長、田中主査
傍聴者	
協議資料	各分掌進捗状況、学校教育自己診断結果、令和3年度学校評価、令和4年度学校経営計画について、その他
備考	

議題等(次第順)
(1)学校教育自己診断結果についてのご意見 (2)令和3年度学校評価についてのご意見 (3)令和4年度学校経営計画についてのご意見 (4)その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が、生徒、保護者への情報発信とコミュニケーションをとっており、信頼関係が構築されている。 ・「学校や学級は楽しい」が低迷している。コミュニケーションを高めるような実践を期待している。 ・教員アンケートは、『自己評価』になっていないか？ 教員間で問題点を洗い出し、対策を行うべきだ。 ・「保護者や地域の人たちから意見を聞く機会を設けている」が低いので通信機器連絡システムが構築できないか。HPの回覧件数も増えるのでは。 ・修学旅行、部活動に肯定的評価が低い。横のつながりの希薄化について検証してみてもどうか。 ・HPに関する項目が、生徒も保護者も関心が低いので、生徒に改善点を求めてみてはどうか。 ・コロナ禍で、昨年より良い成果を出している。先生方の尽力の賜物である。 ・中学校訪問、学校説明会は目標を大きく上回り、精力的に実施した。定時制教育の必要性や存在意義を知らしめるという意味において評価されるべき実践である。 ・キャリアパスポート、コグトレ、ICTなど新しいツールを導入し達成していることに、教職員、学校のパワーを感じる。 ・ICTを活用した授業について継続し、成果を期待する。 ・低評価の部分に関しては、学校運営協議会前に、教員間で洗い出した改善点を記載してみてもどうか。 ・これまで順調に数字を伸ばしていることから、この状況を維持していくことで十分魅力的な学校になる。感染状況が下火になり対外的な活動が活発に実施できることを願う。 ・外部人材の活用を実現し、職員の負担軽減を願う。 ・物づくりは人づくり。教職員は情熱をもって取り組んでおり生徒の質も向上している。達成に向け努力をお願いします。 ・内容の見直しが出てくる取り組み(目標)の見える化が必要。スケジュール表から進捗が把握できるようにしてみてもどうか。 ・多様性が重視される現在において、定時制高校は多様な教育機会の提供を実現していると考えれば、その存在意義も否定できない。定時制教育の灯を絶やさないように今後も尽力していただきたい。

次回の会議日程	
日時	令和4年6月
会場	府立佐野工科高等学校 佐工会館1階